

令和 6 年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市都市公園（大畑中央公園）	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂 25-1
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～令和 8 年 3 月 31 日（3 年間）	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること 大畑中央公園の施設管理維持に関すること 大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること 体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること 上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

（単位：千円）

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	51,103	25,439	▲25,664
うち利用料金額	2,210	1,036	▲1,174
うち指定管理料	48,803	24,403	▲24,400
支出合計 (B)	51,103	24,314	▲26,789
うち人件費	24,130	13,139	▲10,991
収支差 (A-B)	0	1,125	1,125
市への納入金	0	0	
計画額と比較した実績額の増減理由	※上半期終了時は記載不要		

3. 施設利用の状況

（単位：人）

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	野 球 場	2,400	2,112	▲288
	庭 球 場	600	72	▲528
	陸上競技場	4,300	2,678	▲1,622
	プ ー ル	9,000	4,613	▲4,387
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)				

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を受信できるようにした。

今期の意見箱等による利用者の声はなかったが、7月下旬から3週の期間に利用者アンケートを実施した。アンケート結果は好意的な回答が多かったが、厳しい意見があるときは、施設管理者側の真意を丁寧に説明し、ご理解を得られるよう、速やかに、事実に基づき、誠意をもって対応することとしている。

4. 自主事業の実施状況

(単位：人、千円)

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	650	565	373
スポーツ振興事業・ルデックウォーキング	18	28	33
スポーツ振興事業・グラウンド・ゴルフ教室	90	26	69
スポーツ振興事業・軟式野球大会	598	85	67

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優良) : 計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果を上げることが見込まれる。

B (適正) : 適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C (要改善) : 指定管理業務の一部に課題があると認められ改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B

④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B
-----------------------	---	---

6. 指定管理者総合評価

事業経営については、指定管理者として公の施設に対する管理運営を適切に行い、施設の管理運営によって住民サービスの質を向上させるとともに、合理的な運営努力を行うことでコスト削減を図ることについて取組んだ。条例の範囲以内で承認を受けた年度計画に基づき、開館時間、休館日等を守り施設の利便性の確保に努めた。

施設ごとの利用状況等は、野球場については、利用者数は、計画人数 2,400 人に対して 2,112 人の利用があり進捗率は 88%、利用料収入については、計画額 190,000 円に対して 111,440 円の収入、進捗率は 59%となった。同年同時期と比べると利用者数及び利用料金収入ともに増加した。これは前年同期と比較し、大会利用は前年同様だった一方、一般利用が増加したことが要因となっている。

次に、庭球場については、利用者数は、計画人数 600 人に対して 72 人の利用があり進捗率は 12%、利用料金収入は、計画額 70,000 円に対して 12,690 円の収入、進捗率は 18%となり、前年同時期に比べると利用者数及び利用料金収入ともに増加した。増加理由は、児童・生徒の利用が減収したものの、一般利用が増加したものである。

次に、陸上競技場については、利用者数は、計画人数 4,300 人に対して 2,678 人の利用があり進捗率は 62%、利用料金収入は、計画額 150,000 円に対して 76,490 円の収入、進捗率は 51%となり、前年同期と比べると利用者数及び利用料金収入ともに減少した。減少の理由としては、一般利用とスポーツ少年団の利用件数が減少したことが主な要因となっている。

最後に、プール施設については、利用者数は、計画人数 9,000 人に対して 4,613 人の利用があり進捗率は 51%、利用料金収入は計画額 1,800,000 円に対して 835,410 円の収入、進捗率は 46%となり、前年同時期と比べると利用者数は 403 人減少、利用料金収入は 4,670 円減少した。回数券の利用は増加しているものの、7月から8月にかけて児童・生徒の利用が大きく減少した。

燃料費については、燃料単価の高騰が続くものの、プールに使用する灯油は、気温が高い日が続き使用量を抑えることができたが、電気料については、職員間の声かけにより共有して節電を図ったが増額となった。

施設の維持管理については、施設の安全性を保つため、点検を計画的に、適切に実施したことから、修繕費を抑えることができた。施設の老朽化が進む中、今後も機械設備の経年に伴う更新時期も考慮しつつ、施設・設備の維持管理に常に注視したい。

職員の教育訓練については、利用者の安全を最優先に考えた施設運営と施設の維持管理を適正に行う観点から、施設開設前と夏休み繁忙期前も研修を2回実施した。条例・規則規定及び業務仕様書の読み合わせをして業務内容について共通理解を図った。また、事業計画書にある消防訓練、救助訓練も計画どおり実施し、職員の資質向上とサービス向上の意識を高める取組みを行った。

8月に公園草刈業務委託者の従事員1名が、作業中に眩暈を起し座り込んでいたため救急車両を要請した。その際、早急な判断、通報を行えたことにより軽症で済んだ。不測の事態に対処するための定期的な訓練を積み重ねてきたことが、良い結果へと繋がった。

資格取得については、上級スポーツ施設管理士の資格更新の時期であったため2名が更新した。今後も、定期的に教育・訓練を実施することとしている。

自主事業については、利用促進と施設の活性化を図るために、積極的に次の6つの事業を実施した。

5月から実施した水泳教室は、水泳の競技人口増加とともに健康増進につながるきっかけづくりとしての役割を主に果たしている。また、7月には着衣水泳教室を実施した。夏休みの前に防災教

育として、水に浮かぶ等の体験をとおして参加者に水難事故への備えについて伝えることができた
と考察している。

ノルディックウォーキングは、5月、7月、10月に計画を予定して参加者を募り、9月末までに
2回実施した。5月は大畑中央公園内で八重桜の開花期間中に実施。7月は大畑中央公園からむつ
市下北自然の家まで、峠を越えて歩くルートとし、曇り空だったがウォーキングするにはちょうど
良い気温で約8kmの道のりを踏破した。参加者の募集については、広報むつ及びむつ市LINEで配信
して参加者を募った。

グラウンド・ゴルフ教室は、5月から実施した。参加者の評判も良く、継続して参加している方
々は、個々に用具を揃えている。

軟式野球大会は、今期で2年目となる熟年リーグ（満40歳以上、満60歳未満）を開催した。大
会は5月から10月の期間で、むつ市内から4チームもよる総当たり2回戦（6節全12試合）で実
施している。実施に伴い利用者増加とともに、施設の活性化に寄与することができている。

また、少年軟式野球大会は、あさひな杯・第6回を実施した。2日間のトーナメント戦を計画し
たが、大会前日の天気予報で2日目の天気が荒天予報だったことから、2日目の準決勝、決勝を中
止する判断をして、1日目の1回戦3試合を実施した。天候に伴う理由から止む無く中止の判断を
することになったものの、関係者のご協力があり安全を最優先とした運営ができた。また、この大
会は、青森県軟式野球連盟むつ支部及び熟年軟式野球大会選抜の皆様方からの協力を受けて運営す
ることができた。さらには、大畑町体育協会様からは共催という形で大きな支援を受けた。

これからも、自主事業を積極的に実施して利用促進と施設の活性化を図っていく所存である。

これまで、当施設を管理してきた経験も活かしながら、安全で効率的な施設運営を行い、より高
い成果が出せるよう努力していく。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・施設利用状況については、前年同時期と比較すると増加している施設もあるが、計画数に対して
下回っている数字が見られるため、利用者数の増加に繋がるようサービスの向上に期待する。
- ・施設の維持管理については、施設の老朽化が目立つなかでも、こまめに点検を行い修繕が必要な
箇所は早期に対応することで最小限の修繕に抑えられている点を評価する。
- ・職員管理では、不測の事態にも即座に対応できるよう定期的に訓練を実施している点、また、資
格取得に関しても積極的に取り組んでいる姿勢が見られる点を評価する。
- ・自主事業では、水泳教室やグラウンド・ゴルフ教室など様々な事業を実施することで利用促進及
び施設の活性化に取り組んでいる点を評価する。今後も継続して施設の利用促進に繋がる事業の実
施を期待する。